

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として 2. 社会/実践を通して 3. 知識を大事に 4. コミュニケーションを通して 5. 生徒・教員が共に <オナーシップ/一人称> <PBL型/アクション> <自ら得る知識/高める関心> <自分/他者のやりとり> <共に探究する関係性>	
グローバルスタディの学習目標	
国際的な課題解決のために多様な価値観を越えて外国の高校生とつながる	
1. 世界を知る・世界の中の自己を知る 2. 自らの問題関心に気づく・問題を自分事にする 3. 直接の出会いの中から学ぶ・違いの中から学ぶ 4. 自らの意見を表現する・議論する	

授業日	4/12(火)	1学期授業回数	1回目 / 全9回
学習目標	探求学習を理解する、積極的なコミュニケーションを通して互いと互いの考えを知る		
時間	5限目	探求型授業3科目合同ガイダンス	
授業内容	6限目	アイスブレイク、自己紹介、「豊かさ」を考えるワーク（日本語・英語両方をしようして）	
評価方法	学びの記録ルーブリック		
宿題指示	「豊かさワーク」を、異なる立場で2、3パターン行い、気づいたことを書く。／配布した条件カードで足りないと思ったものについても書く。		

授業日	4/19(火)	1学期授業回数	2回目 / 全9回
学習目標	他のメンバーと関連な議論を通して「豊かさ」について理解を深めるとともに、コミュニケーションの手法を身につける／豊かな社会実現のために必要な政治参加について、選挙を含めた自分の選択行動の重要性について気づく		
時間	5限	「豊かさ」条件カードをグループでダイヤモンドランキングにする	
授業内容	6限	各グループの議論のポイントについて2分ずつ発表する／豊かな社会実現のために必要な政治参加についてレクチャー	
評価方法	学びの記録ルーブリック		
宿題指示	なし		

授業日	4/26(火)	1学期授業回数	3回目 / 全9回
学習目標	身近な政治参加としての生徒会活動を深く理解することで、自身の持つ権限やそれをどの程度行使しているかについて分析し、積極的行動に向けた意欲を持つ。		
時間	5限	前回学びの記録のフィードバック／生徒会理解度クイズ／民主的かどうかを判断するために	

授業内容	6 限	必要な質問作り 枝川部長による過去の生徒会活動の講義（具体的経験談）／部長に対する質問
評価方法	学びの記録ルーブリック	
宿題指示	なし	

授業日	5/10(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
学習目標	英語によるパネルディスカッションの経験を通して、意見の組み立て方や主張、効果的な質問方法について的手法を学ぶと同時にディスカッション英語を学ぶ		
時間 授業内容	5 限	前回学びの記録のフィードバック、パネルディスカッションについての説明とトピック決め	
	6 限	グループでテーマについての意見の整理 パネルディスカッション（間にグループで作戦会議の時間を挟む）	
評価方法	パネルディスカッション記録シート（グループ事前準備用〈英語〉・内容記録用）		
宿題指示	学びの記録に全体を通した気づきや意見をまとめてくる 次回のゲストの話聞くにあたって事前調査を行う（テーマ：日本で輸出されるバナナの産地で行われる環境破壊・人権侵害に関して）		

授業日	5/24(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
学習目標	銀行の投融资と私たちの貯金の関係、その具体例としてスミフル社について、高知栽培バナナに関わる問題点（農薬空中散布とその被害、労働者の低賃金と労働問題など）を知り、グローバルな問題と自分自身とのつながりについて考えられるようになる。		
時間 授業内容	5 限	講師（Fair Finance Guide, Parc(アジア太平洋資料センター)）の田中滋さんによる講義	
	6 限	講義、自分たちに関係する銀行についての調査など	
評価方法	学びの記録		
宿題指示	特になし（学びの記録を次週までに完成させてくる）		

授業日	5/31(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
学習目標	日本に輸出されるバナナの産地で行われる環境破壊・人権侵害について追加調査とグループでウェビング作業		
時間 授業内容	5 限	日本に輸出されるバナナの産地で行われる環境破壊・人権侵害について追加調査とグループでウェビングを用いての視覚的整理作業。	
	6 限	グループごとにウェビングを紹介・解説。自他のグループを比較。教師から、問題の大きな背景としてのアグリビジネスや新自由主義等、歴史的背景などについてのキーワードやヒントを提示。	
評価方法	学びの記録の右側の欄（意見・思考の部分）についてロイロで提出したもの		
宿題指示	自分が関心のあるグローバルな問題について情報をピックアップし、内容のまとめと感想を書いてくる		

授業日	6/7(火)	1 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
学習目標	自分の興味のあるニュースを限られた時間で的確に伝えるとともに、相手の内容にも素早く問題点や疑問点を考え、伝える力をつける。		

	ジェンダー平等について、身近な感覚から世界的な状況まで、個人の体験を想起したり、客観的資料を分析したりして理解を深め、他者と議論できるようになる。	
時間 授業内容	5 限 6 限	<ul style="list-style-type: none"> ・各自調べてきたニュースのまとめをグループ内で発表し、質問を受ける。 ・ジェンダー平等に関するワークシートに沿って、各自のジェンダーに関する認識や置かれている状況の違いについてペアで意見を共有しながら理解を深めていく。 ・なぜジェンダーギャップが身の回りで起こっているかについて、全体で意見を出し合う。 ・ユニセフの Web サイト(含英文)や閣議決定の資料を読み、客観的データ情報に触れる。 ・図書館の L G B T 特設コーナーを起点に興味のある図書資料を探す。
評価方法	News article シート (自分が関心のあるグローバル問題をまとめたシート)	
宿題指示	<ol style="list-style-type: none"> ① 次回ゲストが提示する BIG ISSUE 掲載の記事を読み、感想や意見をまとめる。 ② BIG ISSUE とは何かを調べる。 ③ 地球温暖化の原因・現象について簡単にまとめる。 ④ FoE Japan の Web サイトや「気候変動マップ」を参考に、次回ゲストへの質問項目を 2、3 考えてくる 	

授業日	6/21(火)	1 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
学習目標	「気候正義」を切り口に、公正な世界のあり方について多角的に考える力を身につけるとともに、一市民としての役割に気づく。		
時間 授業内容	5、6 限	講師 (国際環境 NGO、FoE Japan (Friends of the Earth Japan)) の高橋英恵さんによる講義 (気候変動問題の大きさや自分たちとの関わり、NGO 活動の現場、市民活動の役割や課題など)。質疑応答	
評価方法	ワークシート		
宿題指示	特になし		

授業日	6/28(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
学習目標	各政党の環境に関するリアルな情報を自分の頭で判断しながら最善なものを選ぶことで、自分たちの手に現実社会を変える選択権があることを自覚し、主権者としての意識を養う。		
時間 授業内容	5 限 6 限	<ul style="list-style-type: none"> ・前回感想のフィードバック ・政党からの環境団体の質問に対する回答を読んで、分からなかった部分・疑問に感じたことを書き出し、最も賛成する党を選びグループ内でディスカッション。全体共有。 ・メンバーそれぞれの希望テーマを活かしながら話し合いで 3 人グループに分かれ、1 学期のまとめとしての授業づくりアイデアを出し合い、方針を決める 	
評価方法	「政党に質問！」シート		
宿題指示	1 学期の最終課題 (高校生相手に 15 分授業) を各グループで準備する		

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として 2. 社会/実践を通して 3. 知識を大事に 4. コミュニケーションを通して 5. 生徒・教員が共に <オナーシップ/一人称> <PBL型/アクション> <自ら得る知識/高める関心> <自分/他者のやりとり> <共に探究する関係性>	
グローバルスタディの学習目標	
国際的な課題解決のために多様な価値観を越えて外国の高校生とつながる	
1. 世界を知る・世界の中の自己を知る 2. 自らの問題関心に気づく・問題を自分事にする 3. 直接の出会いの中から学ぶ・違いの中から学ぶ 4. 自らの意見を表現する・議論する	

授業日	9/6(火)	1学期授業回数	1回目 / 全11回
学習目標	受講者1人1人が自分自身の問題意識を明確に提示するとともに、お互いの発表について自由に発言し合うことでさらに深め合う。		
時間 授業内容	5・6限	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期の目標の確認（論文作成のポイントなど） ・提出レポートと本時の発表ルーブリックの確認 ・クジによって決めた順番で、夏休みに準備してきた発表5分と質疑応答5分を行い（4人）、担当教員からもコメントや質問を加える。 <p>【夏休みの課題】 「自分の探求テーマの設定と調査内容をレポートに2000字上でまとめ、個人発表の準備をする」</p>	
評価方法	（調査内容とプレゼンについて）発表ルーブリックに基づいて評価		
宿題指示	特になし		

授業日	9/13(火)	2学期授業回数	2回目 / 全11回
学習目標	受講者1人1人が自分自身の問題意識を明確に提示するとともに、お互いの発表について自由に発言し合うことでさらに深め合う。		
時間 授業内容	5・6限	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに準備してきた「自分の探求テーマの設定と調査内容」についての発表5分と質疑応答5分を行い（4人）、担当教員からもコメントや質問を加える。 	
評価方法	（調査内容とプレゼンについて）発表ルーブリックに基づいて評価		
宿題指示	特になし		

授業日	9/20(火)	2 学期授業回数	3 回目 / 全 11 回
学習目標	受講者 1 人 1 人が自分自身の問題意識を明確に提示するとともに、お互いの発表について自由に発言し合うことでさらに深め合う／研究するという事について、手法や手順について理解する		
時間 授業内容	5 限 6 限	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに準備してきた「自分の探求テーマの設定と調査内容」についての発表 5 分と質疑応答 5 分を行い (2 人)、担当教員からもコメントや質問を加える。 ・今後の予定について確認するとともに、研究(探求)するための手順や手法、研究計画書の書き方や意味について教員が説明した。 	
評価方法	(調査内容とプレゼンについて) 発表ルーブリックに基づいて評価		
宿題指示	特になし		

授業日	9/27(火)	2 学期授業回数	4 回目 / 全 11 回
学習目標			
時間 授業内容			
評価方法			
宿題指示			

授業日	10/4(火)	2 学期授業回数	5 回目 / 全 11 回
学習目標	大学図書館で先行研究の文献調査を通して、自らのテーマ設定に活かすとともに新たな知見を得る。		
時間 授業内容	5、6 限	<ul style="list-style-type: none"> ・文献調査の方法やコツについて教員から具体的に説明する。 ・大学図書館で文献調査をする。 	
評価方法	文献調査ワークシート		
宿題指示	文献調査ワークシートへの記入		

授業日	10/18(火)	2 学期授業回数	6 回目 / 全 11 回
学習目標	英語ディスカッションスキルを身につける／研究手法について理解を深めるとともにフィールドワークや海外生との交流についての意義や注意点を理解する		
時間 授業内容	5 限、6 限	<p>クラスを 2 つに分け、1 時間ごとに以下の 2 種類の授業を展開した。</p> <p>グループ① 「外国人児童の抱える問題」についての英語ディスカッション</p> <p>グループ② 研究手法 (文献調査) についてのアドバイス・フィールドワークや海外生徒の交流について各自の体験を共有しながら意義や注意点を確認する</p>	
評価方法	英語ディスカッションへの参加意欲や態度、発言回数や内容など		
宿題指示	<p>①海外との交流に向けて、自己紹介アプリへの入力を進める</p> <p>② (可能なメンバーは) フィールドワーク希望先について調べてくる (団体詳細と選定理由)</p>		

授業日	10/25(火)	2 学期授業回数	7 回目 / 全 11 回
学習目標	尊厳ワークショップを通して自他の尊厳を理解するとともにそれを守るためのスキルを身につけ、平和構築に向けた新たな道筋への気づきを得る		
時間 授業内容	5 限 6 限	尊厳の定義の確認、「尊厳の 10 の要素」と自分の尊厳が守られた経験の共有 「尊厳を侵害する 10 の誘惑」と自分の尊厳が傷つけられた経験をグループで寸劇にして全体で共有・誘惑についての考察、人間という存在について・マンデラ意識・平和構築のための尊厳文化について教員より講義	
評価方法	学びの記録		
宿題指示	各自で探求活動を進める（テーマの考察、フィールドスタディ先の選定など）		

授業日	11/8(火)	2 学期授業回数	8 回目 / 全 11 回
学習目標			
時間 授業内容	5 限、6 限	・次回、オンライン国際交流について（①イベント詳細確認、②当日の目標設定、③Padlet 自己紹介の記入、④英語プレゼンの準備と教員による内容チェック、⑤インドの高校生に対するの質問を考える） ・適宜、個別に教員による探求活動の個別アドバイス、フィールドスタディ先の決まった人には個別で相談時間	
評価方法	英語プレゼンテーション作成内容		
宿題指示	英語プレゼンテーションの準備を進める（完成次第ネイティブチェックを受ける）、インドの高校生への質問作り、Padlet(オンライン自己紹介アプリ)への自己紹介の作成		

授業日	11/15(火)	2 学期授業回数	9 回目 / 全 11 回
学習目標			
時間 授業内容			
評価方法			
宿題指示			

授業日	11/22(火)	2 学期授業回数	10 回目 / 全 11 回
学習目標	インドの高校生との交流を通して、互いの価値観の違いに触れ、英語を使った積極的なコミュニケーションの力をつける。		
時間 授業内容	5 限 6 限	・イントロダクション、アシスタントと目標や不安の共有 ・グループに分かれ自己紹介アプリ(Padlet)を見ながら互いに自己紹介 ・全体で SDGs クイズ大会(Kahoot!を用いたゲーム大会) ・グループごとに発表&質疑応答(日本側の個人発表・インド側のグループ発表と質疑応答) ・クロージング	
評価方法	発言への積極性、英語プレゼンの内容、振り返りシート		

宿題指示	本日の交流の振り返り（自分にとっての良かった点・悪かった点／1月の交流に向けてやってみたいことや心意気など）
------	--

授業日	11/29(火)	2学期授業回数	11回目 / 全11回
学習目標	インドとの交流の反省と次への目標を明確化するとともに、インド側の発表内容を他グループへ英語で共有することで英語コミュニケーションに慣れる。		
時間 授業内容	5限 6限	インドとの交流を通して学んだことや気づいたことを個人で整理し、1人1分間英語で発表する グループで自グループのインド側の発表内容を見返して情報を整理したり不明点を解消したりして英語でマナボードにまとめ、全体に英語でグループ発表する。適宜質問に答える。	
評価方法	学びの記録		
宿題指示	特になし		

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGsの達成を目指し、Mastery for Serviceを体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける5つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として 2. 社会/実践を通して 3. 知識を大事に 4. コミュニケーションを通して 5. 生徒・教員が共に <オナーシップ/一人称> <PBL型/アクション> <自ら得る知識/高める関心> <自分/他者のやりとり> <共に探究する関係性>	
グローバルスタディの学習目標	
国際的な課題解決のために多様な価値観を越えて外国の高校生とつながる	
1. 世界を知る・世界の中の自己を知る 2. 自らの問題関心に気づく・問題を自分事にする 3. 直接の出会いの中から学ぶ・違いの中から学ぶ 4. 自らの意見を表現する・議論する	

授業日	1/17(火)	3学期授業回数	1回目 / 全6回
学習目標	次週の国際交流本番に向けて、冬休みに各自調査してきた内容を生かして自分の意見を英語で的確に周囲に伝えるとともに、他のメンバーの意見を正確に掴んで自分自身の意見を表明する力を養う。		
時間 授業内容	5限目	留学帰国者からの報告。WWLアンケート回答。次週国際交流(第2弾)についての説明。 ディスカッションテーマについての調査内容を1分間のスピーチにまとめる。	
	6限	グループで準備(ディスカッション練習・互いの意見内容の整理・「私たちにできること」の日本側のアイデア確認・インド側への質問を考える)	
評価方法	冬休みの調査内容		
宿題指示	With the Worldの当日に向けたワークシートへ1/21までに記入する(共通点探しゲーム用質問・自分の意見のまとめ・インド側への質問・「私たちにできること」のアイデア等)		

授業日	1/24(火)	3学期授業回数	2回目 / 全6回
学習目標	インドの高校生とのオンライン国際交流プログラムを通して、英語を使ってテーマを掘り下げてディスカッションするスキルや度胸を身につけるとともに、同じ問題を共有する仲間として、意見を練り上げて共同宣言を作成し、自分のものとして受け止める。		
時間 授業内容	5限	With the Worldによるテーマについてのミニ解説/アシスタントと本時の目標の確認/アイスブレイクゲーム(共通点探しゲームでグループごとに得点を競う)/ブレイクアウトルームごとにディスカッションA(選んだテーマについて各自意見を発表し、意見交換)	
	6限	ディスカッションB(テーマに関して、「私たちにできること」の共同宣言づくり)/クロージング(共同宣言の共有)	

評価方法	
宿題指示	特になし

授業日	1/31(火)	3 学期授業回数	3 回目 / 全 6 回
学習目標	国際交流の振り返りを通して、インド側との文化や環境の違い・言語の壁をいかに超えて議論を深めることができるか、また、そのために克服すべき課題について具体的にイメージができるようになる。		
時間 授業内容	5 限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の交流でインド側と作成した共同宣言を各グループで振り返りながら、交流によって深まった点、議論を進める上で難しいと感じた点、宣言の実現生について意見交換。 ・ 各グループごとに発表し、教員からの質疑応答に答えながらさらに認識を深める。 	
	6 限	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教員より国際交流についての講評。 ・ 来年度の交流の持ち方について、今年度の反省を踏まえて生徒の希望を調査する。 ・ 個人の研究計画書についての個別面談・アドバイス。 	
評価方法	学びの記録		
宿題指示	特になし		

授業日	2/7(火)	3 学期授業回数	4 回目 / 全 6 回
学習目標	今年度の授業の学びを振り返りつつ、それを人に対してどのように整理して話すか、あるいは、自分たちの経験した英語コミュニケーションをどのようにリードするかについての具体的方法を考え出し、実践する。		
時間 授業内容	5 限	次週のクロスカリキュラム・ピアティーチング（クロカリ）の参加クラス決め	
	6 限	グロスタの授業についての提案、必要資料の共有・役割分担、リハーサル① リハーサル②、グループで最終準備 (準備と並行して) 個人研究について、別室にて順番に個人アドバイス	
評価方法	特になし		
宿題指示	クロスカリキュラム・ピアティーチングの準備		

授業日	2/14(火)	3 学期授業回数	5 回目 / 全 6 回
学習目標	クロスカリキュラム・ピアティーチングを通して、今年度自分たちが経験した英語ディスカッションを他の授業メンバーにも有意義に経験してもらえるよう、獲得した知識や技術を適切に活用してファシリテーションする力を養う。		
時間 授業内容	5、6 限	<p>2 年探求 3 科目合同で、それぞれがこれまでの学びの特徴や経験を生かして互いに授業を行い合う。</p> <p>グロスタの授業内容は以下の通り↓</p> <p>2 グループ共通テーマ「Making a joint declaration」。講座①②ともに「ジェンダー」について英語でのディスカッションを行います。※可能な限り英語ディスカッションを通して S D G s 解決策について参加者と一緒に宣言を作る。</p>	
評価方法	Classi にて提出する振り返りシート		
宿題指示	次週の個人発表（研究計画書について）に向けての準備（5 分発表 + 4 分質疑応答）		

授業日	2/21(火)	3 学期授業回数	6 回目 / 全 6 回
学習目標	夏休み以降に各自で設定し、探究を進めてきたテーマについての研究計画・途中経過・今後の方針を発表する		
時間	5 限	前回ピアティーチングの講評・共に振り返り／発表評価内容についての確認／提出レポートの必要項目について／先行研究調査のポイント・フィールドスタディについての注意点。 研究が進んでいる生徒 1 人、立候補者 2 人の計 3 名が全体の前で発表・質疑応答。 テーマがなるべく近い者でクラスを 2 つに分け、2 教室で個人発表・質疑応答。	
授業内容	6 限		
評価方法	発表評価基準（テーマ設定、フィールドスタディ計画、今後の計画の観点から評価）に応じて発表を評価。プレゼン内容、質疑応答の質・量についても評価。		
宿題指示	3/8 までに各自の探究のまとめレポートを word で作成の上、提出する（5000 字程度）		